



令和7年



としょかん

図書館だより



あさひしょうがっこうとしょかん
旭小学校図書館

かんちょう さいじょう
館長 西條かおり

ししょ いでともこ
司書 井出知子

わたし しょうがっこう ねんせい きゅうしょく とき たんにん せんせい こめ かんじ はちじゅうはち
私が小学校1年生の給食の時、担任の先生が「米」という漢字は「八十八」
と書くように、農家さんがたくさんの手間をかけて育てたものだから感謝しながら
食べましょう、と教えてくれたことを今でも時々思い出します。

さいきん しょうばん ニュースや新聞ではお米の値段がとても高くなっていると報道さ
れています。日本人にとってお米とは、最も身近な食べ物の一つです。今月の図書
館だよりでは、その「米」について本を紹介したいと思います。日本人とお米との
深いかわりがみえてきます。



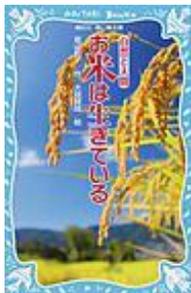
『おこめをつくる のうふののふさん』 むろい さく しんにっぽんしゅつぱん
室井さと子・作 / 新日本出版

おこめをつくる「のふさん」の1ねんかんのおはなしです。
はる 春、おなじように おこめをつくる ごきんじょさんに とうえを てつだ 手伝ってもらいます。
なつ 夏、 ざっそう 雑草をとったり、 たいふう 台風へのそなえをします。
あき 秋、 まちにまった しゅうかく 収穫です！ ごきんじょさんをよんで しゅうかくさい 収穫祭もひらきます！
ふゆ 冬、 いえ なか 家でできる しごと 仕事をします。 そのほかにも わらを あんだり、 おもちをついたり。



『にっぽんのおにぎり』 はくおうあつし ちよしゃ りろんしゃ
白央篤司・著者 / 理論社

あなたの好きなおにぎりはどんなおにぎりですか？
とどうふけん 47都道府県それぞれにちなんだおにぎりが紹介されています。



『お米は生きている』 とみやまかすこ さく こうだんしゃ
富山和子・作 / 講談社

お米は単に主食としてのご飯に限らず、日本の自然や文化の土台だったのです。
お祭りや相撲もお米の文化、またお米はお金の代わりでもありました。
みなさんは「いねの花」を見たことはありますか？夏の朝、1～2時間だけ咲くそう
ですよ！一度でいいので見てみたいですね！

次のひまわり号は、5月23日(金)です！